様式第2号別紙1

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間）　第 1 年度分

1　事業所の概要

事業者の名称	有限会社はやとみ	
事業所の名称	はやとみ	
事業所の所在地	仙台市青葉区大倉字上下7	
主たる事業	飲食店	
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者

2　温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2023　年度	基準排出量	40.9 t-CO_2	基準原単位	0.001363
	目標年度	2025 年度	目標排出量	39.2 t-CO_2	目標原単位	0.001308
			削減率	4.15 %	削減率	4.03 %
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
温室効果ガスの排出状況	第１年度	2024 年度	排出量	53.3 t-CO_2	排出原単位	0.001777
			削減率	-30.32 %	削減率	-30.38 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	プロパンガスに関しては、テイクアウトコーナーにガスレンジを導入したことによりガスの使用料が増えてしまったようだ。電気に関しては店舗入口の物販売り場にエアコンを新設したことにより使用料が増えてしまった。逆に灯油に関しては店舗入口の暖房器具がなくなったので使用料が減った。				
	第２年度	2025 年度	排出量	t-CO_2	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					
	第３年度	年度	排出量	t-CO_2	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3　温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	9 %	目標年度	100 %
	第１年度	100 %	実施状況の説明等	当店は飲食業を営んでいるので、お客様の快適さと省エネルギーを両立させるのはなかなか難しかった。こまめなスイッチのオンオフ、すだれ等を用いたり、大型のサーキュレーターで店内の室温の均一化を図った。事業所断熱改修促進補助金を用いた断熱ガラス導入工事により大幅な体感温度の向上が図れた。
	第２年度	%	実施状況の説明等	
	第３年度	%	実施状況の説明等	

（一般事業所等用）

様式第2号別紙1

	項目	実施状況
選択対策の実施状況	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	生産性管理	実施済
	外気冷房	実施済
	窓の断熱性向上	実施済

	項目	具体的な取組内容	実施状況
その他の対策の実施状況	その他地球温暖化を防止する対策の実施	すだれやサーキュレーターを設置し、室温上昇を防止することで空調負荷を低減している	実施済